

I. 目的（定款第3条）

本法人は、会員相互並びに国内外の関連団体との交流を深め、顎関節学に関する基礎的及び臨床的研究、教育及び診療についての会員の能力向上を図るとともに、それにより地域社会における口腔の健康の維持と向上に貢献し、もって国民の健康と福祉の増進に寄与することを会員共通の目的として、次の事業を行った。

- (1) 学術大会の開催に関する事業
- (2) 研究発表会、講演会、講習会及び教育研修会などの開催
- (3) 機関誌、及びその他の出版物の刊行
- (4) 顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する専門医等の各種資格認定事業
- (5) 顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する研修機関等および研修制度の整備
- (6) 顎関節に関する研究者並びに医療・保健・福祉事業者の教育及び育成事業
- (7) 顎関節疾患に関する調査並びに合同研究
- (8) 国内外の顎関節治療関連団体との連携及び交流
- (9) 顎関節疾患に関する医療・保健・福祉情報の発信並びに啓発事業
- (10) 研究の奨励及び助成並びに研究業績の表彰
- (11) その他本法人の目的を達成するために必要な事業

II. 学術大会の開催に関する事業（定款第3条1項）

1. 第36回学術大会

- 1) 会期：2023年7月8日（土）～9日（日）
- 2) 形式：東京ビッグサイト TFT ホール
- 3) 大会長：依田 哲也（東京医科歯科大学 顎顔面外科学分野 教授）
- 4) 参加者：652名（会員560名、準18名、非会員54名、医療スタッフ6名、学生3名、海外参加者11名）
- 5) メインテーマ：「顎関節サイコウ（再考，再興，最高!!）；みんな集まれ!」
- 6) 演題：
 - ①企画演題
 - 特別講演 1 題
 - 教育講演 1 題
 - シンポジウム 4 題
 - イブニングシンポジウム 1 題
 - 日本歯科衛生士会共催・臨床医の会合同シンポジウム 1 題
 - ランチョンセミナー2 題
 - 若手部会企画シンポジウム 1 題
 - 認定医セミナー1 題
 - ハンズオンセミナー1 題
 - 覚道健治賞（学術奨励賞最優秀賞）受賞講演 1 題
 - 診療ガイドライン発表 1 題
 - 顎関節外科研究会セッション 1 題
 - ②一般演題
 - 一般口演 9 題
 - ポスター64 題

Ⅲ. 研究発表会、講演会、講習会及び教育研修会などの開催（定款第3条2項）

1. 第57回学術講演会

開催日：2023年10月22日（日） 開催形式：web開催（zoom）

「顎関節と咬合の関わりに関する様々な対応」

パート1：「顎関節症と咬合に関わる歴史の変遷」

大久保昌和（日本大学松戸歯学部）

パート2：「顎関節と咬合に関わる歯科放射線検査と診断」

松本邦史（日本大学歯学部歯科放射線学）

パート3：「顎関節と咬合に関わる歯科矯正的対応」

廣瀬尚人（広島大学矯正歯科）

パート4：「顎関節と咬合に関わる口腔外科的対応」

大井一浩（金沢大学顎顔面口腔外科学）

パート5：「顎関節と咬合に関わる補綴歯科的対応」

水橋 史（日本歯科大学新潟生命歯学部歯科補綴）

参加者数：160名（会員155名、準会員1名、研修医2名、非会員2名）

2. 第58回学術講演会

開催日：2024年1月28日（日） 開催形式：web開催（zoom）

「症例から考える一顎関節症を難しくする鑑別診断と治療選択一」

パート1：「顎関節症の病態分類，診断基準とその対応」

小見山 道（日本大学松戸歯学部クラウンブリッジ補綴学講座）

パート2：「鑑別診断と治療後再評価の重要性」

白田 頌（慶應義塾大学医学部 歯科・口腔外科学教室）

パート3：「鑑別すべき疾患の注意点」

石山裕之（東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科咬合機能健康科学分野）

パート4：「咬合と関節円板への治療介入」

高岡亮太（大阪大学大学院歯学研究科クラウンブリッジ補綴学・顎口腔機能学講座）

パート5：「医療面接，鑑別診断，治療法選択の重要性」

西山 暁（東京医科歯科大学 総合診療歯科学分野）

参加者数：131名（会員121名、非会員1名、研修医5名、準会員4名）

3. 第59回学術講演会

開催日：2024年5月19日（日） 開催形式：web開催（zoom）

「顎関節症と鑑別を要する疾患における外科治療の現在」

パート1：「顎関節治療における外科治療の位置づけと鑑別疾患」

石井 広太郎（飯塚病院 歯科口腔外科）

パート2：「顎関節外科処置に必要な解剖と画像検査」

松本 邦史（日本大学歯学部歯科放射線学講座）

パート3：「顎関節疾患に対する顎関節洗浄療法・鏡視下手術・内視鏡支援下手術の適応」

野上 晋之介（東北大学大学院歯学研究科 顎顔面口腔再建外科学分野）

パート4：「開口障害を主徴候とする疾患と内科との連携が必要な疾患への外科的対応」

佐藤 毅（九州歯科大学 歯学部 口腔保健学科 歯科衛生士育成ユニット）

高岡亮太（大阪大学大学院歯学研究科クラウンブリッジ補綴学・顎口腔機能学講座）

パート5：「口腔機能回復治療としての咬合に配慮した顎関節の口腔外科的対応」

大井 一浩（金沢大学大学院医薬保健学総合研究科外科系医学領域顎顔面口腔外科学分野）

参加者数：139名（会員123名、準会員2名、研修医10名、非会員4名）

4. 日本歯科衛生士会・日本顎関節学会共同企画講演会 「顎関節を知ろう！」

開催日：2024年5月26日（日）13：00～15：20 開催形式：web 開催（zoom）

[第1部] 知っておきたい顎関節症の基本、歯科衛生士からみた顎関節症への対応、歯科衛生士への顎関節症の教育について

[第2部] TCHとは、TCH 是正指導のコツ、TCH の他の歯科疾患に対する影響

講師：佐藤 文明、日高 玲奈、兜森 彩日

参加者：268名 うち 日本顎関節学会 12名

IV. 機関誌、及びその他の出版物の刊行（定款第3条3項）

- 日本顎関節学会雑誌：4回発行（うち1回は大会抄録集）
第35巻2号（2023年8月発行）
第35巻特別号（第36回学術大会号）（2023年6月発行）
第35巻3号（2023年12月発行）
第36巻1号（2024年4月発行）

V. 顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する専門医等の各種資格認定事業 （定款第3条4項）

【新規認定】

<専門医および指導医>

2023年指導医、専門医試験を実施。

2023年11月6日（日）ステーションコンファレンス東京
10：00～11：00＝記述試験、12：15～13：00＝口頭試問
専門医3名を新たに認定（指導医申請者は無し）。

<認定医>

●計9名の新規申請者の内、研修機関に所属する5名は書類審査のみ、
研修機関に所属しない4名は書類審査に加えて、ポスタープレゼンテーション審査を実施。

ポスタープレゼンテーション審査

実施日：2023年7月9日（日）

会場：東京ビッグサイト TFT ホール3階 HALL1,000

書類審査のみ5名と、書類審査およびポスタープレゼンテーション審査受審者4名の
計9名を、本会認定医として新たに認定した。

<研修機関>

新規に研修施設3施設を承認。

【更新認定】

2023年12月31日が認定期限となる方々の資格更新審査を実施。

＜対象者および結果＞

- 専門医および指導医の両資格：
35名中29名の更新を承認。3名は保留、1名は更新意思なし。
- 指導医：4名中3名の更新を承認。1名は保留。
- 専門医：72名中37名の更新を承認。11名は保留。
24名は更新の意思なし（内19名は65歳以上）。
- 暫定指導医：3名中2名の更新を承認。1名は保留。
- 研修機関：61施設中46施設の更新を承認。3施設は保留。12施設は更新意思なし。
- 認定医：19名中10名の更新を承認。5名は保留。4名は更新の意思なし。

＜DC/TMD2023 認定セミナーの実施＞

開催日：2023年8月12日（土）～13日（日）

会場：日本大学松戸歯学部 MD ホール／教育実習棟臨床実習室

認定セミナー受講者13名、聴講のみ5名

13名が認定された。

VI. 顎関節に関する研究者並びに医療・保健・福祉事業者の教育及び育成事業

（定款第3条6項）

VII. 顎関節疾患に関する調査並びに合同研究（定款第3条7項）

VIII. 国内外の顎関節治療関連団体との連携及び交流（定款第3条8項）

第7回アジア顎関節学会

会期：2023年10月20-21

会場：Four Points By Sheraton Beijing, Haidian

テーマ：「Challenges of treating juvenile TMJ degenerative disease」

IX. 顎関節疾患に関する医療・保健・福祉情報の発信並びに啓発事業（定款第3条9項）

- 顎関節症初期治療診療ガイドライン2023改訂版の公開
- 学術大会の運営

X. 研究の奨励及び助成並びに研究業績の表彰（定款第3条10項）

- 令和5年度学会賞特別賞
 - 1) 古谷野 潔（九州大学名誉教授）
 - 2) 杉崎 正志（鶴見大学元客員教授・東京慈恵会医科大学客員教授）
- 令和5年度学術奨励賞・覚道健治賞（最優秀賞）

受賞者名：大木郷資（九州大学口腔機能修復学講座インプラント・義歯補綴学分野）

受賞論文名：睡眠時ブラキシズムを有する顎関節症患者へ用いたオーラルアプライアンスの効果に関するランダム化比較試験
- 令和5年度学術奨励賞・優秀賞

受賞者名：高橋康輔（独立行政法人 労働者健康安全機構 口腔外科）

受賞論文名：下顎頭骨折に対する Lag screw を用いた観血的整復固定術について

XI. その他本法人の目的を達成するために必要な事業（定款第3条11項）